



主催：一般社団法人 関西建築構造設計事務所協会  
後援：一般社団法人 日本建築構造設計事務所協会連合会（FASA）  
後援：一般社団法人 日本建築構造技術者協会（JSCA）関西支部

## 第44回 公開講演会報告

報告日 2018年10月22日

会長 西邦弘

技術委員会委員長 横田友行

第44回公開講演会が、2018年10月22日に大阪市内建設交流会館8階グリーンホールにて開催されました。

多数の参加者が集まる中、西会長の主催者挨拶から始まり、講演会は、2010年2月以来8年ぶりに改定される日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」の改定の概要について、主査である名古屋工業大学 建築デザイン学科 教授一之瀬 敏勝先生にご講演頂きました。



今後の課題として 全体構成を保有耐力規準と整合性を取りつつ一次設計に特化した規準へと縮小していくとお話頂きました。

本業を行う上で、大変興味深い内容であり、有意義な時間でありました。



講演は、主な改定の概要として

(1)鉄筋（特にカットオフ筋）の付着規定に関する明確化・簡略化・緩和 (2)耐震壁の枠部材の設計上の設計事項の充実 (3)杭基礎でアーチ機構を考慮できる事とした (4)長期荷重時の変形計算式を単純化でした。



ご参加頂きました皆様にとって有益な講演であったことを切に願います。また、会員の皆様のご協力を得て円滑に開催することができました事、改めて感謝申し上げます。

対象者 建築構造関係者  
建築行政関係者

参加費 無料

参加者 約250名